

人 権

1 中央公民館

人権教育に係る児童生徒の作品を展示

(1) ねらい

地区内の小中学校の児童生徒が作成した人権教育に係る作品を周知・提供することにより、地区内の人権意識の向上と啓発を図る。

(2) 対象等

対象:本庁管内地区在住者、来館者等

周知方法:館報掲載、出展をする小中学校へお知らせ

(3) 内容

毎年 12 月の人権週間に合わせて地区内の小中学校に依頼していた人権標語作品、計 65 作品を中央公民館 3 階ホワイエ・各コミュニティセンターに展示する。作品展示に選ばれた児童への表彰状を作成し、展示期間・場所のお知らせを併せて配布をする。

回	月日	学習主題・内容	作品数
1	5/1～(毎月 1 日発行)	中央公民館だより(毎月 1 日に発行)4 ページ目に人権教育啓発記事を掲載した。2 月号・3 月号は、下記の作品展示について掲載予定。	—
2	2/25(土)～ 3/12(日)	12 月の人権週間に合わせて桃井小・中川小・敷島小・城南小・城東小・若宮小・天川小・岩神小・第一中・みずき中・第三中・第五中の児童に人権標語を依頼し、計 65 作品を公民館 3 階ホワイエに展示予定。	65
3	3/18(土)～ 3/26(日)	上記日程で展示した作品を第一コミュニティセンターから第五コミュニティセンターでも展示予定。その際は、各コミュニティセンターの地区内小中学校の作品のみを展示し、さらに多くの地域住民の方への人権啓発を図る。	65

(4) 評価と反省

今年度の「本庁管内小中学校児童生徒人権標語作品展」は、出品数を小中学校で各学年 1 作品を目標に提出を依頼したため多くの作品が提出された。その中でもクラスが少なく学校内全てのクラスから代表作品 1 作品を提出したいと希望が出たところもあった。また、学校によっては 4～6 学年の児童については今年度から「標語」から「作文」に変更になったとの知らせもあったので、今後の作品展示をする際は、「作文」の展示方法など試行錯誤し、多くの児童生徒作品を展示していきたい。

2 上川淵公民館

人権教育①パネル展『「あなたらしい」を築く、「あたらしい」社会へ』

(1) ねらい

- ①男女共同参画の意義を知り、地域課題への住民参加を促す。
- ②住民による地域コミュニティづくりに必要な男女のパートナーシップを指摘し、健全な地域活動推進に役立てる
- ③来館者（市民サービスセンター利用者・図書館分館利用者・公民館学習者）に対する人権教育の拠点として重要課題の周知を行う。

(2) 対象等

地区住民、公民館利用者

周知方法：館報に掲載、公民館内でチラシ配布

(3) 内容

市男女共同参画センターより借用した資料のパネル展示

開催期間：令和4年7月2日(土)～7月14日(木)

会場：上川淵公民館ロビー

(4) 評価と反省

市男女共同参画センターが先だつて行ったパネル展の資料を借用し開催した。LGBTやSOGI等メディアで取り上げられることも多く関心が高まっている問題についても触れられており、公民館利用者や図書館利用者の数多くが足を止めて見ている様子が見受けられた。次年度以降も継続して行っていきたい。



パネル展示の様子

人権教育②『地域で考える子どもと人権』

(1) ねらい

- ①管内各小中学校の人権教育の取り組みとその成果を住民に発表する機会とする。
- ②子どもの権利を考え、幼児虐待などを地域から廃絶する機運を醸成す

る。

③来館者（市民サービスセンター利用者・図書館分館利用者・公民館学習者）に対する人権教育の拠点として重要課題の周知を行う。

(2) 対象等

地区住民、公民館利用者

(3) 内容

地区小中学校より提供された人権標語の展示

開催期間：令和5年2月22(水)～3月8(水)

会場：上川淵公民館ロビー

(4) 評価と反省

管内各小中学校が取り組んだ人権標語を、ロビーにおいてパネル展示した。毎年行っているが、パネル設置場所の位置的に、パネルの両面に展示すると裏面はあまり見てもらえないことが多いため、今年度はパネルの表面にすべて展示できるよう配置を調整した。公民館利用者や図書館利用者の数多くが足を止めて見ている様子が見受けられた。

次年度以降も継続して行っていきたい。

3 下川淵公民館

児童・生徒の人権教育に係る標語の活用

(1) ねらい

人権意識の向上と啓発

(2) 対象等

下川淵地区在住者等

(3) 内容

地区内の小中学校の児童と生徒が発表した標語を12月の国の「障がい者週間」及び「人権週間」を考慮し、1月号から3月号の公民館報に掲載する。

○ 1月1日号 下川淵小学校 6作品 第七中学校 5作品

○ 2月1日号 下川淵小学校 6作品 第七中学校 6作品

○ 3月1日号 下川淵小学校 7作品 第七中学校 7作品

(4) 評価と反省

地区内の小中学校の協力が得られ、公民館報を活用し、人権について考える場を提供した。公民館報は毎戸配布しており、人権に対する関心を高めるための必要な手段として、次年度も継続して実施をすることといたしたい。

4 芳賀公民館

人権教育に係る児童生徒作品を掲載

芳賀地区の小中学校（芳賀小学校・芳賀中学校）の協力を得て、平成26年1月1日の公民館報から、児童・生徒が作成した人権標語作品を紹介している。
実績：令和4年1月～12月にかけて、令和3年度応募分36点の人権標語作品を掲載した。

令和5年2月～12月にかけて、令和4年度応募分37点の人権標語作品を掲載した。

人権教育に係る児童生徒の作品を展示

(1) ねらい

- ①地区内の芳賀小学校、芳賀中学校と連携し児童生徒が作成した人権をテーマにした標語を展示することにより、来館者の人権への関心を高める。
- ②「手をつなぐ作品展」と同時期に開催することや人権週間後まで展示することにより、より効果的に啓発を図る。

(2) 対象等

展示対象：芳賀地区小中学校の児童生徒が作成した人権標語作品

(3) 内容

- ①令和3年度に芳賀小学校、芳賀中学校の児童生徒が作成した人権標語の優秀作品を令和4年11月29日（火）から12月19日（月）まで展示し、「手をつなぐ作品展」については12月7日（水）から人権標語作品と一緒に展示した。
- ②令和4年度に芳賀小学校、芳賀中学校の児童・生徒が作成した人権標語の優秀作品を公民館ロビーに展示した。

回	月日	学習主題・内容	作品数
1	11/29（火） ～12/19（月）	【令和3年度】芳賀小学校、芳賀中学校の児童生徒が作成した「人権標語作品」を展示	36点
2	1/23（月） ～2/20（月）	【令和4年度】芳賀小学校、芳賀中学校の児童生徒が作成した人権標語作品を展示（表彰状贈呈）	37点

(4) 評価と反省

令和3年度から、芳賀小学校と芳賀中学校と連携し、児童生徒の人権標語作品を公民館報に掲載するとともに、公民館ロビーに作品展示を行った。作品展示期間を、人権週間期間中の「手をつなぐ作品展」と同時期に行うことで、展示の前で足を止めている人が多かった。また、地域の児童生徒の作品のため、

人権標語が身近に感じられたようであり、来館者の人権への啓発を図ることができた。



人権標語作品展示 1



人権標語作品展示 2



手をつなぐ作品展

5 桂萱公民館

人権教育に係る児童生徒作品を掲載

桂萱地区の小中学校（桂萱小学校・桃木小学校・桂萱東小学校・桃瀬小学校・桂萱中学校・鎌倉中学校）の協力を得て、児童・生徒のつくった人権標語作品を公民館報「桂萱」にて紹介している。

実績：令和5年1月1日号～3月1日号にかけて、36点の人権標語作品を掲載予定。

人権七夕飾り

(1) ねらい

- ①短冊に文字として書くことにより、人権に対する興味・関心を高める。
- ②七夕飾りを通して人権尊重の意義を広く来館者に周知する。
- ③人権啓発方法の手法拡大を図る。

(2) 対象等

趣旨：様々な角度から人権啓発事業を推進する機会として、人権七夕飾りを館内に設置することにより来館される地域の方々に「自分の願い事」と併せて

「人権に関する願い事」を記入した「願い事短冊」を作成いただき、七夕の時期に家族や友人とともに、人権問題に思いを寄せていただく企画として七夕飾りを設置する。（短冊募集期間：6月1日～7月4日）

周知方法：公民館報「桂萱」・館内への募集チラシ掲示

開催場所：桂萱公民館ロビー

参加者数：合計149名（短冊枚数）

(3) 内容

回	設置月日	学習主題・内容	人数
1	6/24（金）～ 7/7（火）	来館者等が人権に関する願い事等を短冊に記載したものを竹に取りつけ、桂萱公民館ロビーに七夕飾りとして設置する。人権に関する願い事のテーマは「平和への願い」とする。	149

(4) 評価と反省

今回で5回目となる七夕の時期の人権啓発事業として、人権七夕飾りとして地域住民や来館者に短冊などに人権に関する願い事を記載していただいた。

今年はロシアによるウクライナ侵攻を受け、侵略反対や平和に対する願いなどが多く寄せられました。

また今回は初めて、前橋地方法務局所有の人権啓発パネル（子ども・女性の人権啓発）を同時展示することによる相乗効果により、広く多くの方に人権に関する関心を高めることが出来たと感じました。



人権七夕飾り



同時展示の人権パネル展

6 東公民館

「手をつなぐ作品展・人権標語展」の開催

人権週間に合わせて地区内小中学校5校の児童・生徒に人権標語を作成してもらい、その中から優秀作品を選出して館内住民交流スペースに約1か月間【令和4年12月21日（水）～令和5年1月20日（金）】展示することで、子どもたちの人権教育学習成果の発表と地域の人権意識向上を図った。

また、併せて前橋市手をつなぐ育成会主催の「手をつなぐ作品展」を12月21日～1月9日に同時開催し、障がい者の方々が作業所で制作した製品などを多くの来館者に見ていただいた。



手をつなぐ作品展



人権標語展

7 元総社公民館

児童生徒の人権教育に係る作品(標語や作文、ポスター等)の活用

(1) ねらい

地区内4小中学校の児童・生徒が作成した人権教育に係る作品を、地区内に周知・提供することにより、地区内人権意識の向上と啓発を図る。

(2) 概要

ア 元総社地区青少年育成推進委員会と地区内4小中学校と連携し、地区内4小中学校へ「いじめをなくすスローガン」の作成依頼。

各学校の優秀作品の中から、元総社地区青少年育成推進委員会にて最優秀作品を選出した。

イ 市教育委員会から各学校への協力依頼に基づき、公民館からも地区内4小中学校へ児童生徒の人権教育に係る作品の提供依頼を行った。

(3) 内容

ア 最優秀作品に選出されたスローガンの「のぼり旗」を元総社地区青少年育成推進委員会で作製。各学校へ「のぼり旗」を配布すると共に啓発掲示を依頼した。

なお、各学校の代表作品パネルを作製し、館の玄関ホールへ「のぼり旗」と一緒に掲示すると共に、「のぼり旗」については、外へ向けて館の敷地内にも設置して啓発を行っている。

イ 地区内の4小中学校から提供された児童生徒の人権教育に係る作品を1月16日(月)から2月28日(火)まで、休館でも中庭から観られるようホールロビーの窓ガラスを利用し、488点もの人権作文や標語等を展示した。

【展示作品】

元総社中学校:人権標語 人権集中学習の感想

元総社小学校:いじめ0宣言、人権作文、思いやり（ことば）の花束

元総社南小学校:なかよし標語、思いやり（ことば）の花をさかせよう

元総社北小学校:人権標語、人権作文

（4）評価と反省

地区内4小中学校へ人権教育に係る作品の提供を依頼したところ、488点もの作品提供があった。休館でも、外から観られるよう展示したことにより、公民館利用者や地域の方々へ児童・生徒が普段感じている人権について広く知っていただく良い機会となった。

また、今年度も元総社地区青少年育成推進委員会と協力し、地区内4小中学校へ元総社地区いじめをなくすスローガンの作成を依頼し、各学校の代表作品のパネル展示と最優秀作品の「のぼり旗」の作製・掲示を行ったり、公民館報にも掲載するなどを行ったことにより、地区内人権意識の向上と啓発が図れた。

来年度も、元総社地区青少年育成推進委員会と地区内4小中学校と連携し、児童・生徒の作品を展示して、地区内人権意識の向上と啓発活動を継続していきたい。



各学校の「いじめなくすスローガン」
「のぼり旗」啓発掲示の様子



人権教育に係る作品展示全体
の様子（中庭から）



元小・元南小・元北小学校の
人権教育に係る作品展示の様子



元北小学校・元総社中学校の
人権教育に係る作品展示の様子

8 総社公民館

人権教育に係る児童生徒作品を展示

地区内の第六中、総社小、勝山小と連携し、令和5年2月14日（火）から3月14日（火）まで総社公民館ロビーにパネルを設置し、生徒・児童による人権標語、ポスター等の作品を展示することにより、総社地区住民及び来館者の人権意識の向上に努めた。

人権教育推進事業(桜が丘集会所)

(1) ねらい

講座や諸集会を開催することにより、互いの人格を尊重し、思いやりの心や幅広い知識を身につけ、住民の交流を図る。

(2) 対象等

対象：地域住民

(3) 内容

対象・回数	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者（敬称略）	人数
運営委員会 (2回)	6/28(火) 17:30~17:50	第1回 運営委員会	討議 意見 交換	—	13
	書面開催	第2回運営委員会 (実績報告・人権教育の取り組み)		—	—
利用団体 説明会	2/2(木) 17:30~	利用団体説明会 利用等の説明	意見 交換		13
一般 (1回)	10/26(水) 10:00~11:30	※ひざ腰らくらく運 動教室 ピンシャン! 元気体操講座	実技	長寿包括ケア課職員	17
子ども (2回)	12/17(土) 14:00~15:00	子ども人権教育ビデオ 上映会	学習会 鑑賞	協力 子ども会育成会	3
	2/26(日) 10:00~11:00	※人形劇	人形劇 鑑賞	人形劇工房 やまねこ座	30
全住民	第1・4土曜日 14:00~16:00	読書普及活動	図書貸 出し等	図書ボランティア 池田 麗子	
	2/14(火) ~3/14(火) (総社公民館) 常設展示 (集会所)	人権教育に係る作品 の展示(児童・生徒等 の標語・ポスター等 の展示)	展示	協力 第六中・総社小・ 勝山小	

	1/25 (水) ~ 1/30 (月) (総社公民館) (集会所)	手をつなぐ作品展 (障がい者理解のた めの前橋市内巡回作 品展・活動写真展)	展示	前橋市手をつなぐ 育成会	
--	--	---	----	-----------------	--

※は、会場を桜が丘集会所から総社公民館に変更した講座。

(4) 評価と反省

成人を対象とした講座では、「ひざ腰らくらく運動」を企画し、集会所での開催が困難であったため、場所を総社公民館ホールとし、対象を総社地区全体に拡大した。

参加者は顔見知りが多かったので、和気あいあいと和やかな雰囲気、住民同士の交流も図ることができた。

子どもを対象とした講座では、「子ども人権教育ビデオ上映会」を企画し、参加者は少なかったが、実施できた。

また、「人形劇」を2月26日(日)に企画し、集会所での開催が困難であったため、場所を総社公民館ホールとし、対象を総社地区全体に拡大した。

来年度も、引き続き集会所運営委員をはじめとして、関係団体と連携を図りながら、事業の実施に努めていきたい。



ひざ腰らくらく運動



人権作品展示



人権ビデオ上映会



人形劇

9 南橋公民館

人権教育に係る児童生徒作品を掲載

(1) ねらい

①地区内小・中学生が作成した人権教育に係る作品を周知・提供することにより、地区内の人権意識の向上と啓発を図る。

(2) 対象等

地区内の小・中学生に依頼していた人権標語を「館報 南橘」に掲載した。

(3) 内容

掲載号	内容	作品数
2月号	地域の小・中学校に人権標語を依頼した。公民館報へも定期的に人権に関する記事を掲載し、人権意識の向上を図った。	87

(4) 評価と反省

地区内の小・中学生の協力で沢山の標語を掲載できた。

地域で考える人権

(1) ねらい

①各種の人権について考える。

(2) 対象等

対象：地域住民

(3) 内容

月日	内容
11月～2月	人権全体（11月）人権標語（2月）

①人権について、啓発リーフレットを館報に掲載した。

(4) 評価と反省

①館報に掲載することで、人権について考える機会を作れた。

②人権啓発のリーフレットを設置し人権への意識向上を図った。

10 清里公民館

群馬県立前橋高等特別支援学校校外学習・作業学習製品展・販売会

(1) ねらい

①生徒が地域住民との交流を通じ、自立に向けた力を高める機会とする。

②学校の活動紹介パネルの展示や生徒が制作した作業学習製品を展示、販売することで、学校活動への理解を深めるとともに日頃の成果発表の機会を提供する。

(2) 対象等

清里地区在住の方を対象に館報及び回覧により周知。

(3) 内容

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者（敬称略）	人数
1	11/16（水） 10：30～12：00	作業学習製品展示・販売 活動紹介	実習 展示	群馬県立前橋高等 特別支援学校	17
2	11/17（木） 11：30～14：45				33
3	3/7（火） 10：00～14：00				17
4	3/8（水） 10：00～14：00				16

(4) 評価と反省

毎回支援学校の先生が5から6名程度随行しロビー及び入口付近で行われた。多数の住民が訪れ、生徒たちは作品の説明をし、感想を聞くなどしていた。

生徒たちは住民とふれあい、これから社会人となり働くための良い経験になったと思う。次年度以降も継続することにより、ふれあいの場を提供してゆきたい。



被服作品の展示・販売



木工作品の展示・販売

前橋市手をつなぐ育成会との連携事業

(1) ねらい

「前橋市手をつなぐ育成会」と清里地区地域づくり協議会員が交流し、地域の魅力発見や人と人を結ぶ機会の提供をする事業を行うことで、障がい者理解とさまざまな視点による自立支援に繋げる。

(2) 対象等

手をつなぐ育成会会員及び関係者、清里地区まちづくり協議会の食育部会員及び花いっぱい運動部会員。

(3) 内容

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者（敬称略）	人数
1	2/5（土） 13:30～15:35	・きよさと焼を作って食べよう ・天然木で自分だけのプレートを作ろう	実習	前橋市手をつなぐ育成会、まちづくり協議会食育部会・花いっぱい部会	12

（４）評価と反省

まちづくり協議会食育部会 4 名、同会花いっぱい部会 2 名、前橋市手をつなぐ育成会 9 名の協力により行われた。

参加者は、ホールで各家族に分かれコーティングガンを使い、思い思いのプレートを作っていた。また、1 家族ずつ会議室に集まりきよさと焼を作って食べ充実した時間となった。



きよさと焼づくりの様子



プレートづくりの様子

障がい福祉事業所等清里公民館連携作品展事業

（１）ねらい

① 清里地区の障がい福祉事業所等の活動紹介パネル・写真・作品・販物品の展示や販売をすることにより、事業者のモチベーションの向上や障がい者の理解を進める機会とする。

② 「手をつなぐ作品展」の展示期間に同時開催することで、地域住民が障がい者や人権について興味・関心を高める機会を提供する。

（２）対象等

清里地区在住の方を対象に館報により周知。

（３）内容

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者（敬称略）
1	11/9（水）～ 11/21（月）	活動紹介パネル・作品	展示	ゆずりは会 ゆずりは・菜の花、 はるな郷 アシスト前橋・こがね荘、 土曜クラブ

(4) 評価と反省

障がい福祉事業所等の活動紹介や作品を公民館で展示することにより、公民館の利用者や地域住民への理解を進めることができた。

興味のある方は、パンフレットを持ち帰るなどして事業所の参考にしていただくため、情報提供の場となった。



ゆずりはの作品



アシスト前橋の作品

人権教育に係る童作品の展示

(1) ねらい

清里小学校児童の作成した標語等を掲示することにより、来館者へ人権意識の啓発を図る

(2) 対象等

清里地区の住民等を対象に、1月号の館報で周知した。

(3) 内容

回	月日	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者 (敬称略)	作品数
1	12/19 (月) ~ 1/19 (木)	人権教育に係る標語 18点及び絵画9点	展示	清里小児童	27
2	1/23 (月) ~ 2/13 (月)	人権教育に係る書き 初めペン字8点及び条 幅11点			19

(4) 評価と反省

清里小児童の作成した作品を公民館ロビーに展示することにより、住民に人権意識の啓発を図ることができた。

作品の前で写真を撮影している家族があり、家族の団欒に協力できたため良かった。次年度以降も継続し展示してゆきたい。



標語と絵画



ペン字と条幅

1 1 永明公民館

人権教育に係る児童生徒作品を展示及び掲載

地区内の小中学校（第五中・木瀬中、永明小・駒形小・桃瀬小）の児童生徒が作成した人権標語を館報に掲載予定。

また、永明小学校で作成した人権標語の日めくりカレンダーを館内ロビーに掲示し、来館者への啓発に活用した。

人権・男女共同参画パネル展『「あなたらしい」を築く、「あたらしい」社会へ』

(1) ねらい

- ① 男女共同参画の意義を知り、地域課題への住民参加を促す。
- ② 住民による地域コミュニティづくりに必要な男女のパートナーシップを指摘し、健全な地域活動推進に役立てる
- ③ 来館者（市民サービスセンター利用者・図書館分館利用者・公民館学習者）に対する人権教育の拠点として重要課題の周知を行う。

(2) 対象等

人口減少や少子高齢化などの地域課題の解決にあたっては、男女の性別にかかわらずそれぞれの個性と能力を発揮できる「男女共同参画社会」の実現が必要である。

6月23日から29日までの「男女共同参画週間」にちなみ、ロビーにおいてパネル展示・パンフレット配布などを行い、男女のパートナーシップについて啓発する機会とする。

(3) 内容

開催期間：6月17日（金）～6月30日（木）

会場：永明公民館ロビー

(4) 評価と反省

公民館新築移転を機に、地域における人権教育のコアとしての公民館の意義を認識していただくため、開催した。

展示資料については、市男女共同参画センターが6月7日から15日まで前橋市役所ロビーで開催したパネル展の資料を借用した。

公民館新築移転後ということで、見学や所用に公民館へと足を運ぶ市民も多数おり、その大多数が足を止めて見ている様子が見受けられた。次年度以降も継続して行っていきたい。



パネル展示の様子

人権・男女共同参画講座「鎌倉殿をめぐる女性たち」

(1) ねらい

- ① 激動の時代を生きた女性たちが、歴史の中で果たした役割を知る。
- ② 現代の視点から当時の人間関係を考察する中で、男性と女性のパートナーシップを見直し、男女共同参画に親しむ機会とする。

(2) 対象等

対象：一般市民

12月4日から10日まで人権週間。これにちなんで人権尊重の機運を高めるために開催した。

(3) 内容

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者(敬称略)	人数
1	12/11(日) 9:30~11:30	講座「鎌倉殿をめぐる女性たち」	講義	共愛学園前橋国際大学教授 野口 華世	39

(4) 評価と反省

毎年、東上野町の古文書解読にたずさわっている野口先生を講師に迎えて開催し、ひごろ古文書講座に参加していただいている方々が多く参加していただいた。

ちょうどNHK大河ドラマが話題であるためか、今回「牧の方」にクローズアップして歴史上での女性の役割についてご講義をいただいた。

最新の研究成果を踏まえ、史実にもとづくダイナミックな考証をだれもが真剣に耳を傾けていた。



講座の様子

12 城南公民館

人権教育に係る児童生徒の作品を展示

(1) ねらい

①地区内小中学校の児童・生徒が作成した人権教育に係る作品を周知・提供することにより、地域住民に人権意識の向上と啓発を図る。

(2) 対象等

対象：地域住民等

(3) 内容

1月に開催の手をつなぐ作品展展示期間に合わせて、作成した児童・生徒の人権啓発作品を公民館ロビーに展示し、人権への関心や理解を深める機会を提供したもの。

展示期間：令和5年1月11日～1月31日

展示作品：人権標語91点、人権作文8点、計99点

- ・荒砥中学校：標語16点
- ・荒子小学校：標語31点
- ・二之宮小学校：標語24点
- ・大室小学校：標語12点
- ・筑井小学校：標語8点、作文8点

(4) 評価と反省

子どもたちの作品を展示することにより、公民館利用者をはじめ広く地域住民に人権啓発を図ることができた。



児童生徒の作品展示



手をつなぐ作品展

13 大胡公民館

人権教育に係る児童生徒作品を展示及び掲載

(1) ねらい

①人権週間に合わせ地区内小中学校の児童・生徒に募集した人権標語を、次年度の館報掲載により周知することで地区住民の人権意識の向上と啓発を図る。

②手をつなぐ作品展に合わせ期間中に昨年度募集した人権標語を展示し、公民館来館者等の人権意識の向上と啓発を図る。

(2) 対象等

対象：大胡地区住民、公民館来館者等

(3) 内 容

回	月日	内容	作品数
1	4月～3月	前年度に募集した人権標語を館報掲載（毎月）	60
2	10月19日(水) ～11月7日(月)	手をつなぐ作品展に合わせて期間中に公民館ロビーに前年度に募集した人権標語を展示	
3	12月	人権週間に合わせて人権標語を募集	60

(4) 評価と反省

令和3年度に募集した地区内4小中学校の人権標語60作品を毎月の公民館報に掲載し、手をつなぐ作品展に合わせて人権標語を展示することで地区住民と来館者等の人権啓発を図ることができました。

展示期間中に開催された地区文化祭展示部門の会場入り口付近に看板を設置して案内し、相乗効果により多くの来館者に周知することができたと思います。

今年度の人権標語募集作品は、次年度の館報掲載や公民館ロビー展示などにより活用し、地区住民の人権意識の向上等につなげたいと考えています。



展示の様子



展示の様子

14 宮城公民館

人権教育に係る児童生徒作品を展示及び掲載

(1) ねらい

地区内小中学校の児童生徒が作成した人権教育に係る作品を活用し、地域住民に人権啓発を行う。

(2) 対象等

対象：宮城地区の小中学校に通う児童生徒

児童生徒に人権に関する標語等の提供を依頼し、公民館に展示及び館報に掲載する。

(3) 内容

小学生児童作成標語 18点・中学生作成標語 12点

宮城公民館ロビー展示：2月15日～2月27日

館報「みやぎ」に掲載：1月1日号・2月1日号

(4) 評価と反省

小中学生作成による人権標語を活用し、広く地域住民に人権啓発を図ることができた。

人権教育推進事業(鼻毛石集会所事業)

(1) ねらい

教室を開催することにより、お互いの人権を尊重し、思いやりの心や広い知識を身につけ、地域住民相互の交流を促進する。

(2) 対象等

対象：宮城地区住民

(3) 内容

①編み物・手芸教室（セーター・ベスト等の制作） 4回開催

②健康運動教室 4回開催

(4) 評価と反省

各種教室の開催により、実習をとおしてお互いの人格を尊重し、思いやりの心や知識を身に付け地域住民との交流が図られた。

15 粕川公民館

パソコン教室(インターネット活用講座)

(1) ねらい

パソコン教室を通して、地域住民の交流やパソコン操作技能向上、及び人権教育の啓発活動の推進を図る。

(2) 対象等

対象：粕川地区在住、在勤の一般成人

周知方法：公民館報で周知

(3) 内 容

回	期日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者(敬称略)	人数
1	9/8～30(7日間) 10:00～12:00	・パソコン教室 インターネット活用講座 初心者向けインターネットを 活用したパソコンスキルの習 得(一般成人対象)	講義 実技	中央総合教育サービ ス(株)専門講師	3人 延べ 19人
	開催期間中 9/14 ・21の2日間 10:00～11:00	・人権学習 ① 身近な人権問題 障害者差別解消法、虐待防 止 (子供、高齢者、障害者、女性) ② 高齢者の生活支援等・災 害現場では・各地の取組み	講義	社会福祉士 ソーシャルワーカー 内山 恵子	3人 延べ 5人
2	9/8～30(7日間) 19:00～21:00 開催期間中 9/14 ・21の2日間 19:00～20:00	・パソコン教室 インターネット活用講座 初心者向けインターネットを 活用したパソコンスキルの習 得(一般成人対象)	講義 実技	中央総合教育サービ ス(株)専門講師	2人 延べ 14人

		・人権学習 ① 身近な人権問題 障害者差別解消法、虐待防止 (子供、高齢者、障害者、女性) ② 高齢者の生活支援等・災害現場では・各地の取組み	講義	社会福祉士 ソーシャルワーカー 内山 恵子	2人 延べ 4人
--	--	---	----	-----------------------------	----------------

(4) 評価と反省

昨年度は新型コロナウイルス感染拡大により中止や延期としたが、今年度は感染が拡大し心配した時期もあったが、当初の計画通り無事終了することが出来た。

パソコン教室については、各家庭でスマホ等により、インターネットは各家庭に普及しており、パソコンからスマホやSNSなどへの感心が移ってきている風潮があるためマンネリ化が否めず、講座内容の刷新を考える時期にきていると思われる。

集会所学習会

(1) ねらい

集会所指導事業による学校外活動として実施し、必要に応じ予習や復習等の補助を行うほか、体験型特別学習を開催することにより学力や学習意欲の向上並びに仲間づくりなどを幅広く支援する。

(2) 対象等

対象：地区内小学生

周知方法：公民館報やタブレットでのチラシ配信

込皆戸集会所：在籍者数 15名

延べ出席者数：通常学習 221名、特別学習 54名

膳集会所：在籍者数 9名

延べ出席者数：通常学習 123名、特別学習 34名

(3) 内容

込皆戸集会所学習会

期日・時間	学習主題・内容等	講師・協力者 (敬称略)	開催場所	人数
【通常学習】 6/1～11/30(全25日間) 15:00～18:00まで	通常学習は宿題や予習・復習及び各自の学習意欲の向上を図る指導を行う。	矢端 茂子 松村 淳子	込皆戸集会所大ホール	15

込皆戸集会所学習会(特別学習会)

回	期日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者 (敬称略)	人数
---	-------	---------	------	--------------	----

1	8/8(月) 9:30～11:30	SDGs エコ工作《公開講座》 「牛乳からプラスチックを作ろう」	実習	NPO 教育支援協会北関東 講師 2名 (岸本・村岡)	9
2	8/9(火) 9:30～11:30	子ども書道教室《公開講座》 「夏休みの宿題を仕上げよう」	実習	膳書道会 2名	8
3	8/10(水) 9:30～11:30	ものづくり教室《公開講座》 「アロマストーンとバスボムづくり」	実習	自然食材店 クス・クシュ オーナー 高橋 加代	7
4	10/5(水) 16:00～17:30	体験教室 「手品の演技・体験」	実習	吉井 学 (出前講座・市民講師)	14
5	10/26(水) 16:00～17:30	工作教室 「バルーンアートで遊ぼう」	実習	田子 智代	12
6	11/27(日) 10:00～12:00	サイエンス教室《公開講座》 「スライムでスーパーボールを作ろう」 ※込皆戸・膳共同開催 会場 粕川公民館	実習	NPO 教育支援協会北関東 講師 2名 (内堀・岸本)	8

膳集会所学習会

期日・時間	学習主題・内容等	講師・協力者 (敬称略)	開催場所	人数
【通常学習】 6/1～11/30(全25日間) 15:00～18:00まで	通常学習は宿題や予習・復習 及び各自の学習意欲の向上を 図る指導を行う。	赤石 はるみ 長岡 さち子	膳集会所 和室 集会室	9

膳集会所学習会特別学習会

回	期日・時間	学習主題・内容等	学習方法	講師・協力者 (敬称略)	人数
1	8/8(月) 9:30～11:30	子ども書道教室《公開講座》 「夏休みの宿題を仕上げよう」	実習	膳書道会 2名	4
2	8/9(火) 9:30～11:30	ものづくり教室《公開講座》 「アロマストーンとバスボムづくり」	実習	自然食材店 クス・クシュ オーナー 高橋 加代	4
3	8/10(水) 9:30～11:30	SDGs エコ工作《公開講座》 「牛乳からプラスチックを作る」	実習	NPO 教育支援協会北関東 講師 2名 (岸本・村岡)	4
4	10/26(水) 16:00～17:30	工作教室 「バルーンアートで遊ぼう」	実習	田子 智代	7
5	11/2(水) 16:00～17:30	体験教室 「手品の演技・体験」	実習	吉井 学 (出前講座・市民講師)	7

(4) 評価と反省

昨年度は新型コロナウイルスの感染拡大により中止や延期となり、今年の開催も心配されたが、参加児童や講師によるコロナ感染者もなく、無事終了する

ことができた。通常学習では、宿題等の日常の学習を行うとともに、異なる学年の児童が交流をしながら社会性を育むことができたと思う。特別学習は、開催期間中幅広いジャンルから専門講師を招き、子ども達の実体験を重視した体験型学習会を実施し、参加児童からも好評だった。

※特別学習会実施状況



アロマ・バスボムづくり



子ども書道教室



サイエンス教室
(スライムでスーパーボールをつくる)



SDGsエコ工作教室
(牛乳からプラスチックを作る)



ものづくり教室「バルーンアート」



工作教室「手品の演技・体験」

親子陶芸教室・人権講座

(1) ねらい

- ① 地域住民が心豊かに健康で生き甲斐のもてる社会生活を送るため、陶芸を通し趣味や教養・幅広い知識の修得を図る。
- ② 互いの人格を尊重し思いやりの心を持ち、地域住民の仲間づくり、コミュニケーションの醸成を図る。
- ③ 日常生活での人権問題について、考える機会の提供を行う。

(2) 対象等

対象：前橋市内在住・在学の小・中学生及びその保護者等

周知：公民館報、粕川地区小・中学校へタブレットにて配布

(3) 内 容

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者(敬称略)	人数
1	11/9・23・30 (日)全3日間 10:00~12:30	①人権講座 (障害者の人権) 初回9:00~10:00 ②陶芸教室	講義 実習	①塩崎 政江 ②粕川陶芸クラブ 3名	5組 10人

(4) 評価と反省

陶芸はどれをとっても同じ作品はなく、世界で一つの自分のオリジナル作品が作れるもので、完成した作品を親子で喜び合い、また参加者同士で作品の成果をたたえ合う光景がとても微笑ましく感じ、開催できてよかったと思う。

又、人権講座では、塩崎先生の話術・講座進行の雰囲気など、参加者を飽きさせない内容で、堅苦しいと思われがちな人権学習であるが、受講した親子は笑いを交え熱心に聴講していただけた。



親子陶芸教室「人権講座」



親子陶芸教室「陶芸」

粕川地区新採用及び転入教職員等人権研修会

(1) ねらい

- ① 令和4年度に粕川地区へ新たに赴任した教職員等対し、さまざまな人権問題に対する理解と地域性の把握を目的とする。
- ② 参加者が人権教育を推進するうえでの自覚と資質の向上を図る。

(2) 対象等

対象：令和4年度に粕川地区へ新たに赴任した教職員等

(3) 内 容

回	期日・時間	学習主題・内容等	学習方法	講師・協力者（敬称略）	人数
1	8/5(金) 14:00～16:00	【講演会】 講演① 「子どもの人権」 講演② 「同和問題の現状と課題」	講演	①群馬県中部教育事務所 生涯学習係 主任 高橋 佑太 ②部落解放同盟前橋市協議会 会長 中谷 修一	23

(4) 評価と反省

昨年はコロナで中止となった「子どもの人権」について、中部教育事務所高橋先生の講演をお願いした。特に今回は社会問題となっている「ヤングケアラー」について、参加された先生方からも、強い関心を持たれていることを実感した。

また、市協議会中谷会長からは、同和問題の現状についてお話を頂き、いまだに残っている差別問題について、参加者からも深い関心が寄せられた。



人権研修会「同和問題・子どもの人権」

児童の人権教育に係る作品の活用

粕川地区の2校（粕川小学校・月田小学校）の協力を得て、児童の人権標語作品を公民館報に定期的に掲載や公民館に展示した。

16 富士見公民館

人権教育に係る児童生徒作品を展示及び館報掲載

(1) ねらい

地区内5小中学校の児童・生徒が作成した人権教育に係る作品を公民館ロビーに展示すると共に地区内に周知・提供することにより、地区住民及び来館者の人権意識の向上と啓発を図る。

(2) 対象等

対象：富士見地区在住者、公民館来館者等

(3) 内容

12月の人権週間に合わせて地区内の5小中学校に作品の提供を依頼し、公民館ロビーに展示及び館報に掲載して啓発活動を行った。

原小学校：人権標語13点

時沢小学校：人権標語19点

石井小学校：人権標語14点

白川小学校：人権標語14点

富士見中学校：人権標語17点

公民館ロビー展示：4年1月～11月末

館報「ふじみ」掲載：4年2月号～11月号

(4) 評価と反省

地区内の小中学生が作成した人権作品の展示や館報掲載により、公民館利用者や多くの地域住民に人権啓発を図ることができた。



地区内小中学生の人権標語展示